

産山村はじめ教育委員会の皆様へ

産山村立産山学園

ヒゴタイ交流代表派遣(活動報告)

この度のヒゴタイ交流代表派遣では事前の準備、雪の中の送迎、現地での活動の支援など大変お世話になりました。貴重な経験をさせていただきました。この交流での学びをご報告いたします。

今後、産山村のみなさんや産山学園の学園生、先生方にも活動の成果やこれからの見通しを伝えていきたいと考えております。ありがとうございました。

【ヒゴタイ交流代表派遣を終えて】

8年生 高橋優花

カセサート校を訪問しました。歓迎式典では、たくさんの生徒の皆さんが参加してくださいました。式典の最後には、タイ舞踊を生徒の皆さんが披露してくれました。



式典の後、クラスへ移動して歓迎会をしてくださいました。同じ中学2年生がタイのいろいろな地域を紹介してくれました。少しわからないこともありましたが、習った単語を思い出したり、ポスターを見せて説明したりしてくれたのでわかりました。その後はタイ舞踊を踊ってくださいました。すると、踊っていた人たちが私を誘ってくださいました。踊り方を教えてくれて、一緒に踊りました。その後はみんなからお土産をもらいました。日本語を勉強している生徒さんが付いてくれたので安心でした。最後にみんなで写真撮影をしました。タイの人と連絡先を交換できたので嬉しかったです。



カセサート校を案内して頂きました。学校がとにかく広かったです！！小学生から大学生

までの校舎があり、学校の車に大きいトゥクトゥクがあることやスタバやセブンイレブンなどのお店もいろいろあって驚きました。そこで暮らせると思いました。カセサート校の博物館のような建物もあり驚きました。日本の置物があったり、日本の天皇陛下が訪問された写真もあり、「たんぱく源として安くて養殖しやすい魚をタイに広めてくださった。」と先生が説明してくれました。タイでは日本との友好関係は長い間大切にされていることが分かりました。



初めて本場のタイ料理を食べました。カニカレーが一番美味しかったです。フルーツもたくさん食べました。甘くておいしかったです。ドリアンキャンディーが強烈なおいでした。口の中にずっと残りました。



私は今回、初めて海外に行きました。タイでは産山と真逆の気候でとても暖かかったです！！タイの道路は日本と同じで、日本の車がとってもたくさんありました。信号は日本と全然違いました。そのような共通点や違いを知り良い経験ができました。



来年、これからのヒゴタイ交流に向けて、学園生のみなさん、チャレンジしてみてください！！普段とは違う世界に飛び込むこともチャレンジですが、言葉が違う生徒さんや先生方と積極的に話してみてください。ジェスチャーを使ったり、わかる単語を言うだけでも、タイの友達や先生方は理解しようとしてくださいました。きっと自分の言っていることが伝わるはずです！！あとはとにかく楽しんでください！！言語や環境の違いはありましたが、行く前に感じた不安はタイの方々と交流してなくなりました。あまり深刻に考えず、小さな違いでも楽しんでほしいと思います！



最後に、日本に帰ってきた今でもタイの友達が毎日欠かさず連絡をくれます。友達が増えてとても嬉しいです。言葉や国の壁を越えて話せるっていいなと思いました。英語力がとても鍛えられます。タイのことをたくさん知ることができます。またタイに行きたいです！！友達にも会いたいです！！タイに行かせてくださった村の方や先生方、家族にとっても感謝しています！！ありがとうございます！！



【ヒゴタイ交流代表派遣を終えて】

9年生 井 万友華

カセサート校を見学した時に、日本語を専攻している高校一年生の生徒たちが一緒に来てくれて、日本語で挨拶をしてくれたので親近感を感じました。また、学校の敷地が広いと感じました。車で移動するほど広いので、私が生徒だったら絶対迷っていると思いました。

私は歓迎式典でタイ語と英語で挨拶をすることになっていて、ちゃんと言えるか心配でしたが、先生と練習した甲斐があり無事に挨拶を終えることができました。



クラスでの歓迎会では、最初に椅子取りゲームをしました。最後まで残ることが出来て嬉しかったです。その後に、紙で魚を作りました。難しかったですが、一緒に作りながら作り方を教えてくれたのでとてもわかりやすかったです。さらに、プレゼントに紙で作られた大きい魚をくれました。この魚を窓や高いところに飾ると運気が上がると言われているらしく、家に帰ったら絶対に飾ろうと思いました。タイの生徒たちは本当に優しくとても歓迎してくれたので参加出来て本当に良かったです。



タイの食べ物は、日本の食べ物と全然違うと感じました。全体的に味が濃くて、辛いと感じる物が多かったです。個人的にタイ米チャーハンがおいしいと感じました。また、タイはフルーツが沢山あり、初めてパパイヤやドラゴンフルーツを食べましたが、とてもおいしくて、日本でも食べたいと思いました。私は、ドリアンが果物の王様ということで、どんな匂いがするのかとても興味があり、タイに行ったら食べてみたいと思っていました。実物を食べることは出来ませんでしたが、飴を食べてみると匂いが強烈で、匂いがなかなかとれないので、ドリアンの香りを堪能することができました。



タイでは、チップをあげたり、挨拶をするときに手を合わせたりするなど、日本との考え方やマナーの違いを感じました。道路では、車の横をバイクが沢山追い越していったり、二人乗りをしている人を見かけたりして驚きました。また、タイで日本では乗れない象に乗ることができ、貴重な経験が出来たのでタイに来てよかったと思いました。象は近くで見るととてもかわいいです。



来年、交流が行われた際は、英語とタイ語をできるだけ使って欲しいと思います。使うことで私もタイ語を少しですが覚えることが出来ました。タイは英語を話せる人が多いので、来年交流したいと思っている人は、英語を理解することが大切だと思います。私は、買い物をするときやクラスで歓迎会をしてもらった時に英語がもっとわかったら良かったなと後悔することが多々ありました。だから、英語やタイ語は勉強しておくことをお勧めします。



私は、歓迎会の雰囲気やショッピングモールの接客を体験して、タイの人たちは優しい人が多いと感じました。タイの人たちが知っている日本語を話してくれるので嬉しかったです。店員さんがかわいいね〜と商品をお勧めして、象使いの人が「バイバイキーン」と言っていたことが面白かったし意外でした。

私は、行く前や最初の日、心配や不安が大きかったです。自分にとって新しい物を見たり、体験したりすることがとても楽しかったので、もっとタイにいたいと感じるようになりました。来年、私は産山学園を卒業していますが、もしまたタイを訪れる機会があったら絶対に行きたいと思います。そして、これから先もヒゴタイ交流が続いて、タイとの交流を深めて欲しいと思いました。



【ヒゴタイ交流代表派遣を終えて】

井 多恵 (引率)

平成 31 年度のヒゴタイ交流で引率して以来、3 年ぶりにタイ王国を訪れることができとても嬉しかったです。10 月から産山村とカセサート校の先生方との打ち合わせを重ね、

産山村教育委員会や関係者の皆さん、カセサート校の国際科の先生方や日本大使館の方々にもこの機会をいただき感謝します。

2年間、オンラインの交流も試行錯誤で行いました。画面越しにやり取りをする慣れない方法ではありましたが、会えない中にもお互いに思いやり、変わらぬ友情を温めることができていますと、今回の訪問で改めて感じました。

歓迎式典では校長先生はじめ約700名の生徒の皆さんに歓迎していただき、中学3年生の生徒によるタイのお祝いのダンスを拝見しました。学級ではどの教室にも飾り付けがされており、訪問団の7名それぞれに異なる活動を生徒たちが考えて、準備してくれました。ゲームをしたり、名前の書き方を教えてくれたり、タイダンスをみんなで踊ったりして楽しみました。



歓迎の昼食会ではタイのデザート「マンゴー」と「スティッキーライス（日本のもち米のようなもの）」をいただきました。「スティッキーライスは桜の形にしました。日本の桜とタイ王国のマンゴーで友情を表しています。」と担当教員のOu先生がおっしゃいました。私は自分が産山中学校の生徒だったときも含めて、4回このヒゴタイ交流でタイ王国カセサート校の方々と交流しましたが、いつも「おもてなしの心」は日本もタイ王国も共通しているものだと感動します。そして、カセサート校ではどなたもいつも笑顔で、私たちに話しかけてくださいます。わずか5時間ほどの訪問でしたが、たくさんの生徒が日本語で学校案内や歓迎会のサポートをしてくださ



り、先生方がずっと寄り添ってくださいました。人と人の敬愛、「微笑みの国」タイ王国の素晴らしさを学びました。

帰国の時に、3年前にお世話になったホストファミリーがお別れに来てくださいました。「日本とタイの国旗の色で、ブレスレットを作りました。」と手作りの腕輪と、一緒に料理をした思い出深いグリーンカレーの材料をいただきました。とても懐かしく嬉しかったです。

来年、35周年の年にヒゴタイ交流が再開され、カセサート校の交流生を産山村で歓迎できることを期待しています。そして、ホストファミリーとの出会い、先生や生徒たちとの出会いから学ぶことや感動することは子どもたちにとって宝物になります。友情と絆がさらに深まるよう願っています。

